

めもおきば フリーペーパー（めもぺ）2025.12



めもおきば
Aki @ nekoruri
x.com/nekoruri

「めもおきば」のご紹介

こんにちは、いつも「めもおきば」というおひとりさまサークルをやっている Aki と申します。だいたいネット上では「nekoruri」の ID で活動しています。

2015 年から、「サーバーレス技術」を中心としたクラウド技術全般の解説や、技術トレンドにまつわるコラムなどを頒布しております。

BOOTH や技術書典オンラインマーケットにて、オンライン頒布しています。

- ⇒ <https://s.nekoruri.jp/circle> （サークル紹介ページ）
- ⇒ <https://s.nekoruri.jp/tbf> （技術書典オンラインマーケット）
- ⇒ <https://nekoruri.booth.pm> （BOOTH）

既刊の紹介

- サーバーレスを支える技術（第 4 版）
サーバーレスなシステムを作るときの道具や考え方を解説しています。
- サーバーレスのまわりの技術
様々な視点からサーバーレスやクラウドという技術を照らし、今と未来の輪郭がちょっとわかるような全 43 記事のコラム集です。
- TechReport 総集編 3 【2015.12～2024.12】
上記 2 冊を除いた全ての同人誌を含む総集編です。

新刊予告「TechReport 2025.12」

今回落とした新刊「TechReport 2025.12」ですが、今後の参加予定イベントと、それに先行してオンラインで頒布する予定です。

内容としては、年末号いつもの技術トレンド予想と、プラットフォームエンジニアリング、AI時代のリスキリングについての記事を予定しています。

今後の参加予定イベント

- 2026年4月11日～4月26日 技術書典20 オンラインマーケット
- 2026年4月12日 技術書典20 オフライン会場
- 2026年5月10日 第十三回技術書同人誌博覧会

近況

皆さんもご存知の通り、今年はAIがあらゆるソフトウェアエンジニアリングを変えていく2025年でした。技術ミューサーとしてAIの流れを追いかけてつ、自分のキャリアとも向き合う年になりました。

めもおきばの活動としても、AIによる記事執筆の現実性が上がるにつれ、技術同人誌やブログ記事を書く理由に悩んだりもしつつ、サーバーレス本の続巻が出せたことにほっとしています。ネタ帳に、もっと広く知られてほしいこと、というのはたくさん積んであるのですが、じゃあそれを記事として出す価値ってなんだろうか、という疑問に対する答えは正直まだ迷いがあるのですが、面白い視点を紹介して楽しい話ができる人を増やす、という目標はもう少し頑張ってみようと思います。

執筆環境もこの数年いろいろ試行錯誤をしていたのですが、最終的にTypstがいちばん手になじみそうです。Markdownではないもののほどよくマークアップ書式があり、ある程度の調整もしやすい、というのがおすすめポイントです。

SecHack365 に応募しよう

このフリーペーパーが出るのが 2025 年末ということであまり早いのですが、トレーナーとして関わっている「SecHack365」というプログラムを紹介します。

SecHack365(せっくはっくさんろくご 11)は、総務省傘下の NICT(情報通信研究機構)が実施しているプログラムです。25 歳以下の若年層を対象に、1 年間のセキュリティに関するモノづくりの機会を提供します。名前は「SECURITY + HACKATHON 365 DAYS」の略です。

この手もので近いプログラムとしては「セキュリティ・キャンプ」や「未踏」がありますが、一年間の進め方の縛りはない、参加費用が無料¹(費用の支払いなどはない)、一年間で何回か発表の機会がある、などが SecHack365 の特徴です。は毎年 40 名程度の受講生を 4 月に募集し、3 月の「成果発表会」に向けてそれぞれのモノづくりを進めていきます。

修了生のコミュニティもあり、毎年 SecHack365 Returns として同窓会イベントを実施しています。

オフラインイベント

SecHack365 では、一年のあいだに何回か「オフラインイベント」を実施しています。リアルに顔を合わせる機会はとても貴重で、数少ないこの機会を最大限に濃密で最高な時間にするため、いろいろと仕込んでいます。「作る⇒見せる⇒意見をもらう」というサイクルを繰り返すためのプレゼンテーションやポスターセッションを中心に、このような催しを用意しています。

- トレーナーの「推し」の技術に手を動かして触れる「縁日(ワークショップ)」
- 昨今さらに重要になっている法律と倫理についての講義
- 一年間という長い期間でモノづくりを進めていくための「習慣化」講義

¹ 社会人の場合、オフラインイベントの旅費などは自分の負担になります。

- 外部の研究者や修了生によるゲスト講演
- 各地の IT コミュニティとの交流

オンライン活動

オフラインイベントの間は、それぞれの「コース」にわかれて主に活動しています。私が担当している開発駆動コースのゼミでは、毎週の「ゼミ定例」を中心に活動しています。ゼミ定例は決まった曜日の夜に1～2 時間程度、オンラインで集まります。

このゼミ定例では、各トレーニーの状況を「YWT」というふりかえりメソッドに乗せて見せ合うことにしています。YWT は、Y=やったこと、W=わかったこと、T=つぎやること、の3つの軸で一週間を振り返ってもらうというものです。ほかにも、個別に1on1をしたり、イベント前には発表のレビューなどもやったりします。

参加募集と説明会

2026 年度の募集は4 月以降になる予定ですが、それまでに何回かオンライン説明会があります。すでに公式サイトでも案内がのっていますので、興味を持った方や、まわりに25 歳以下の若者がいる方は、是非おまちしています！

SecHack365 公式サイト <https://sechack365.nict.go.jp/>

めもおきば フリーペーパー（めもべ）2025.12

発行日 2025 年 12 月 31 日 コミックマーケット 107

著者 Aki @nekoruri
aki@nekoruri.jp

発行 めもおきば
<https://d.nekoruri.jp/>

印刷 めもおきば